



報道者各位

2013年04月26日
国際協力機構（JICA）
カンボジア事務所

カンボジアの保健分野における診断精度の向上に寄与 ～JICA が、国立・市及び州立病院に医療機材を供与～

4月30日（火）、無償資金協力事業「国立、市及び州病院医療機材整備計画」にて供与する医療機材の引渡式典が、下記のとおり行われます。式典には、マン・ブンヘン保健省大臣のほか、隈丸優次カンボジア王国駐箚特命全権大使および井崎宏 J I C Aカンボジア事務所長が参加し、保健省本省職員および供与先の病院関係者に機材を引渡します。

記

日時：2013年04月30日（火）午後2時30分より
場所：Khmer-Soviet Friendship Hospital, Phnom Penh
主催：カンボジア王国保健省

以上

2012年3月、JICAとカンボジア政府は、プノンペン都および16州都に所在する計4か所の国立病院ならびに市・州最高レベルの計17か所の病院に対し、およそ2.14億円相当の医療機材及び設備（一般X線撮影装置、超音波検査装置、心拍呼吸監視装置等）を供与することに合意し、JICA・カンボジア財務省間で贈与契約に署名しました。これに基づき、JICAは医療機材の供与に加え、医師や技師に向けた、機材の使用法やメンテナンスに関するトレーニングも提供しています。

JICAは、カンボジアの内戦終結直後の1992年から、保健セクターの専門家派遣を開始し、長年に亘り施設建設、機材の供与、また人材育成を通じ、結核などの感染症対策や母子保健の向上に貢献してきました。これらの支援により、保健医療には改善が見られてはいますが、特に母子保健においては未だ課題が山積しています。特に、カンボジアにおける妊産婦死亡率は、出生10万件あたり250件と、近隣諸国（タイ、ベトナム、ミャンマー、ラオス）の中でも、ラオスに続き2番目に高い割合となっているのが現状です（WHO 2012年度報告。参考：日本は10万件あたり4.1件）。今回、結核対策のレントゲン検査や産婦人科腹部検査等に必要不可欠な検査機器が供与されるにあたり、保健セクターにおける更なる診断精度の向上が期待されます。

取材のお申込み、ご質問は以下の連絡先をお願いします。

<プレスリリース問い合わせ先>

JICA カンボジア事務所

広報班 中嶋

Email: NakajimaRutsuko.CM@jica.go.jp

Tel: +855-(0)-23-211-673

Fax: +855-(0)-23-211-67

所在地：6th, 7th, 8th Floors, Building #61-64,
Preah Norodom Blvd, Phnom Penh, Cambodia